



戦略6 教育・人づくり戦略の主な取組と成果

① 社会の変化とニーズに応じた専門教育の推進 (目指す姿1)



ロボット教材を活用したプログラミング教育

最新のICT教材やIT専門人材を活用したデジタル教育を推進



スマート農業体験実習

地域の教育資源を活用した特別講義や技術研修など、最先端の学びを推進

② 学習の質を高めるための教育環境の整備 (目指す姿2)



小学校におけるICTを活用した授業

全ての学校に1人1台端末や高速通信ネットワーク環境を整備



鹿角高校

令和6年4月に、花輪高校・小坂高校・十和田高校を統合し、鹿角高校を開校

③ 豊かな心と健やかな体の育成 (目指す姿4)



特別支援学校と小学校の交流及び共同学習

障害のある子どもが、地域の同世代の子どもや人々と共に学ぶことができる環境づくりを推進



地域人材を活用した体育授業

全ての児童生徒が運動やスポーツの楽しさや喜びを味わうことのできる授業づくりを推進

④ 良質な文化芸術に親しむ機会の充実と文化遺産の保存・活用 (目指す姿6)



メタバース×キンビ

仮想空間(メタバース)上に近代美術館を再現
自宅に居ながら、近代美術館所蔵の美術品を閲覧可能に
(令和6年4月20日～)



西馬音内の盆踊



毛馬内の盆踊

令和4年11月30日、「西馬音内の盆踊」「毛馬内の盆踊」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録



戦略6 教育・人づくり戦略の主な課題と対応方針

目指す姿1 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

課題

- 新規高卒者の3年後離職率は、全国平均を下回っているが、企業とのミスマッチによる離職が生じている。
- 科学技術の進展や産業構造の変化等に伴い、地元企業等が生徒に求める専門的な知識・技術が変化しており、指導内容も高度化している。

対応方針

- 県内事業所の研修制度や離職状況等の情報を生徒に伝える機会を設けるとともに、離職防止セミナーや支援員による就職後のフォローアップを行う。
- 専門人材を活用した特別講義や県内企業等での技術研修を実施するとともに、専門学科や地域をデジタルでつなぐ「ものづくり・ラボ」を構築し、デジタル化に対応したものづくり教育を推進する。

目指す姿2 確かな学力の育成

課題

- 教員個々のICT活用指導力の差は依然大きく、授業改善に向けてICT環境を組織的に有効活用するには至っていない。
- 「人材や予算に課題がある」等の理由から、幼児教育推進体制の構築が進まない市町村がある。

対応方針

- 各種協議会等において各校の好事例を積極的に情報提供するとともに、教員及び学校間の連携を推進する。また、教員研修を実施し、指導力向上を図る。
- 就学前教育・保育アドバイザーを配置する10市村の取組や優良事例等の情報を発信するとともに、市町村訪問による助言指導やアドバイザー配置の課題解決に向けた有識者会議の開催など、市町村の実情に即した支援を行う。

目指す姿3 グローバル社会で活躍できる人材の育成

課題

- 英検3級相当以上の英語力を有する中3生の割合は増えているものの、国の目標(50%)に達していない。
- 企業の外国人材の受入促進などにより今後県内在住外国人の増加が予想されており、地域で生き生きと暮らせるよう、日本語教育の強化が必要である。

対応方針

- 英語担当指導主事による指導改善のための会議において学校訪問時に教員に対して指導する内容を共有するとともに、教員研修で現在課題となっている内容について扱い、教員の指導力及び生徒の英語力の向上を図る。
- 令和5年度に策定した「秋田県日本語教育の推進に関する基本的方針」に基づき、関係機関と連携して日本語教育の環境整備を推進していく。



戦略6 教育・人づくり戦略の主な課題と対応方針

目指す姿4 豊かな心と健やかな体の育成

課題

- ・ スマートフォンの普及拡大により、未就学児のインターネット利用率が急激に増加している。
- ・ 本県児童生徒の新体力テストにおける体力合計点は全国トップクラスにあるものの、コロナ禍前に比べ、体力の低下や運動離れの進行が懸念される。

対応方針

- ・ 関係機関等と連携・協働し、低年齢期の子どもを持つ保護者や幼稚園、保育所等の関係者を対象とした啓発講座を実施し、安全・安心なインターネット利用環境の整備を図る。
- ・ 指導者に対する研修会や地域人材を活用した体育授業等を通じ、運動やスポーツが好きで体力の高い児童生徒の育成に努める。

目指す姿5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

課題

- ・ 県内高等教育機関が、地域を支える拠点としての役割を果たすため、特色ある取組が求められている。
- ・ 県内高等教育機関では、本県産業界等で活躍できる人材の育成に取り組んでいるが、卒業生の半数以上が県外に就職してしまっている。

対応方針

- ・ 秋田県立大学が行うスマート農業の普及に向けた取組や、私立大学等が行う即戦力人材育成の取組など、教育・研究・地域貢献の各分野における各高等教育機関の特色を生かした取組に対し、支援を行う。
- ・ 大学等が行う県内定着に向けた取組を支援するとともに、高校生の県内進学を促進するため、県内高等教育機関等が一堂に会した進学相談会を開催する。

目指す姿6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

課題

- ・ 障害理解や開催ノウハウ、支援者の不足等、障害者に配慮した講座の実施に課題を有する市町村が多い。
- ・ 縄文遺跡群や民俗芸能、郷土食など本県の文化財の魅力が認められつつあるものの、保存や活用に向けては、地域住民と連携した取組が不十分である。

対応方針

- ・ 地区別の課題に応じた講座の開催に向け、各市町村の生涯学習・社会教育担当課、特別支援学校の同窓会等が連携・協働するネットワークを構築し、取組支援、情報発信等を行うことにより、持続可能な学びを目指す。
- ・ 観光部門や地域づくり部門、学校教育等と連携した取組の推進により、地域住民の文化財継承に向けた機運を盛り上げ、保存と活用の相乗効果を図る。